

働き方改革アクションプラン

| | | | |
|------------|---------|-------------|----------------|
| 会社名 | 株式会社大気社 | 従業員数 | ②1,000人～4,999人 |
|------------|---------|-------------|----------------|

①長時間労働の是正（KPI）

- 2024年までに残業時間を45時間/月までに抑える。
- 来期から36協定の残業上限時間を1か月100時間→90時間、特別条項130時間→120時間に、1年間の特別条項を1250時間→1080時間に変更する。

①長時間労働の是正（行動計画）

- 5年後までに残業時間を45時間/月に抑えるために、長時間労働対策会議を発足し、事業部毎に分科会活動を行う。短期的取り組みと中長期的取り組みに分けて対策を講じる。対策内容はIT活用(現場にipadを導入して、事務所から現場の移動時間の削減や、書類作成の簡素化を目指す等)、有給休暇取得の奨励、会議の効率化、テレビ会議の促進、書類の削減、社員のスキルアップ、人員補充対策、業務の平準化、現場支援チームの発足、移動時間の短縮等。
- 現行の36協定変更の労使協議を行い、2018年3月の経営会議で討議する。

働き方改革アクションプラン

| | | | |
|------------|---------|-------------|----------------|
| 会社名 | 株式会社大気社 | 従業員数 | ②1,000人～4,999人 |
|------------|---------|-------------|----------------|

②年休の取得促進（KPI）

- プロジェクト終了後に3日以上連続休暇を取得する。

②年休の取得促進（行動計画）

- プロジェクト終了後に連続休暇を必ず取得できるように、人事部が課長研修等で、管理職への意識付けを行う。

働き方改革アクションプラン

| | | | |
|-----|---------|------|----------------|
| 会社名 | 株式会社大気社 | 従業員数 | ②1,000人～4,999人 |
|-----|---------|------|----------------|

③柔軟な働き方の促進（KPI）

- 時差出勤を導入する。

③柔軟な働き方の促進（行動計画）

- 深夜勤務があった場合、翌日の始業時間を遅らせることができるように就業規則改定に向けて検討を行っている。

【変更案】

事業場外の工事現場作業所等で他の事業者と始業時刻を一にせざるを得ない場所に勤務する場合、および業務の都合等でやむを得ない場合、所属上長の承認のもと始業時刻を変更することができる。この場合、始業時刻から休憩時間1時間を除く7時間45分後を終業時刻とする。

2交代等の時差出勤、通常勤務時間外の勤務に柔軟な対応ができる勤務形態を実現し、長時間の拘束で生じていた過重労働等の軽減化を目的としている。